

久留米市上下水道事業経営戦略

2021-2030

未来へ安心を届けたい



久留米市企業局

「未来へ安心を届けたい」

～久留米市上下水道事業経営戦略（2021－2030）策定にあたって～

2015年9月、国連サミットにおいて採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」では、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の目標が設けられました。その6番目の目標に「安全な水とトイレを世界中に」が掲げられたのは、未だ世界の3割の人が「安全な水」を使えず、6割の人が「安全なトイレ」を使えない状態に置かれているからに他なりません。

幸いわが国では、高度経済成長とともに着実に上下水道の整備が進み、また、関係者の日々の努力によって、概ね「安全な水とトイレ」が確保されていると言えるでしょう。蛇口を捻ればそのまま飲める水があり、レバーを回せば汚水を衛生的に処理できる生活が当たり前になっていると言っても過言ではないでしょう。

久留米市においても、1930年に給水を開始した上水道は、人口普及率96%を超え、管路の総延長は1,450kmとなっています。下水道も1972年に供給を開始し、人口普及率は84%を超え、管路延長は1,300kmとなっています。しかし、この当たり前の状況をこの先もずっと続けることができるのでしょうか。

人口の減少、節水器具の普及、地下水利用の増加などにより、上下水道事業収入の根幹である水需要が減少する一方で、高度経済成長期に整備した多くの設備や管路の老朽化や近年の頻発する自然災害への対応が必要となっており、収入が先細りしていく中で、支出が増加するという難しい状況に直面しています。

このように上下水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、今後の事業運営は、冬山に登る覚悟が必要だとも言われています。そのような状況を見据えて、今後とも安定的に上下水道事業を継続していくために、中長期の視点を持ってこの経営戦略の策定に取り組みました。

上下水道は、人の営みが続く限り、24時間・365日なくてはならない大切なライフラインです。その大切な事業をしっかりと受け継ぎ、「未来へ安心を届けたい」との思いを持ってこの経営戦略を進めていきたいと考えています。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の中にもかかわらず、戦略策定にご尽力頂きました九州大学の広城吉成会長はじめ、久留米市上下水道事業運営審議会の委員ならびにアドバイザーの皆様、そして、多くのご意見を頂きました皆様方に心よりお礼を申し上げます。

令和3年3月 久留米市企業管理者

徳永 龍一

目次

第1章 経営戦略について	1
1.1 経営戦略とは	1
1.1.1 経営戦略の必要性.....	1
1.1.2 経営戦略策定のイメージ.....	1
1.1.3 経営戦略策定の定義・留意点.....	2
1.2 経営戦略の位置づけ	3
1.2.1 本経営戦略の位置づけ.....	3
1.2.2 水道事業アセットマネジメントと下水道事業ストックマネジメント.....	4
1.3 経営戦略の計画期間	4
第2章 水道事業	5
2.1 水道事業の現状と将来見通し	5
2.1.1 水道とは.....	5
2.1.2 全国の水道事業.....	6
2.1.3 久留米市の水道事業.....	10
2.1.4 将来の事業環境.....	22
2.1.5 事業の課題.....	37
2.2 経営の基本方針	39
2.2.1 水道事業の経営理念.....	39
2.2.2 事業目標と施策.....	40
2.3 投資・財政計画	41
2.3.1 投資・財政計画.....	41
2.3.2 今後検討予定の取組み.....	46
2.4 施策と取組み	51
2.4.1 施策と取組み.....	51
2.4.2 【安全】 ① 水源環境の保全.....	52
2.4.3 【安全】 ② 水安全計画による安全な水運用.....	54
2.4.4 【安全】 ③ 給水装置の安全性強化.....	56
2.4.5 【安全】 ④ 水道利用の促進.....	60
2.4.6 【強靱】 ① 老朽化対策の推進.....	62
2.4.7 【強靱】 ② 防災・減災対策の推進.....	63
2.4.8 【強靱】 ③ 危機管理の強化・充実.....	65
2.4.9 【持続】 ① 水道事業の基盤強化及び広域化.....	68
2.4.10 【持続】 ② アセットマネジメントによる適正な資産管理.....	73
2.4.11 【持続】 ③ 環境負荷の低減.....	75
2.4.12 【持続】 ④ 水道事業の「見える化」の推進.....	76
2.4.13 【持続】 ⑤ 組織力の向上.....	79

第3章	下水道事業	81
3.1	下水道事業の現状と将来見通し	81
3.1.1	下水道とは	81
3.1.2	全国下水道事業	82
3.1.3	久留米市の下水道事業	85
3.1.4	将来の事業環境	101
3.1.5	事業の課題	113
3.2	経営の基本方針	115
3.2.1	下水道事業の経営理念	115
3.2.2	事業目標と施策	116
3.3	投資・財政計画	117
3.3.1	投資・財政計画	117
3.3.2	今後検討予定の取組み	124
3.3.3	投資・財政計画（農業集落排水事業・特定地域生活排水処理事業）	129
3.4	施策と取組み	131
3.4.1	施策と取組み	131
3.4.2	【安全】 ① 計画的な下水道の普及	132
3.4.3	【安全】 ② 効果的な浸水対策の推進	133
3.4.4	【安全】 ③ 老朽化対策の推進	135
3.4.5	【安全】 ④ 防災・減災対策の推進	136
3.4.6	【安全】 ⑤ 危機管理の強化・充実	139
3.4.7	【環境】 ① 水洗化の促進	140
3.4.8	【環境】 ② 安定的な下水処理の維持	141
3.4.9	【環境】 ③ 環境負荷の低減	144
3.4.10	【持続】 ① 汚水処理手法の最適化の検討	146
3.4.11	【持続】 ② 下水道事業の基盤強化及び広域化・共同化	148
3.4.12	【持続】 ③ スtockマネジメントを踏まえた適正な資産管理	154
3.4.13	【持続】 ④ 下水道事業の「見える化」の推進	156
3.4.14	【持続】 ⑤ 組織力の向上	159
第4章	計画の推進	161
4.1	目標	161
4.1.1	経営指標	161
4.2	推進体制とフォローアップ	162
4.2.1	事後検証・改定等	162
4.2.2	取組状況の公表	162